

授業展開例⑧ 「クレジットカードの支払方法とショッピング利用時の注意事項」

● 学習指導過程

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 5分	1. 前時の学習を振り返り、本時のねらいを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 三者間契約の仕組みを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者、販売店、クレジット会社のフリップ
展開Ⅰ 15分	2. クレジットカードの主な支払方法をワークシートに記入する。 3. 利息計算に必要な用語と利息の計算方法をワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> 分割払い、リボ払いの違いを説明し、支払終了時期と、支払総額に着目することを伝える。 利息の計算方法の基礎知識を押さえる。 購入金額が同じでも、毎月の支払額や金利の違いによって、どのくらい利息が変わるか実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者用パワーポイント資料 クレジットカード申込書、規約（本物）ワークシート⑧ 指導者用パワーポイント資料ワークシート⑧
展開Ⅱ 20分	4. クレジットカードを使う際の注意点について意見交換する。 いろいろなクレジットカードの申込書、会員規約を比較して、気付いたことをグループディスカッションする。	<ul style="list-style-type: none"> 「消費者」「販売店」「クレジット会社」それぞれのメリットについて考えさせる。 戸惑っている班には、会員規約の文字の大きさ、支払方法、手数料などを確認させる。 会員規約の条件に基づき、手数料や支払総額を利息計算用プログラムでシミュレーションをするように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者、販売店、クレジット会社のフリップ A3の用紙 クレジットカードの申込書、規約（本物）、広告（本物） 利息計算プログラム※
まとめ 10分	5. 学習内容を振り返り、今後の生活にどのように生かすか考える。	<ul style="list-style-type: none"> クレジットカードの特徴や正しい使い方を理解しておく意義をまとめる。 キャッシュレス化の現状や企業の取り組み、成年年齢下げなどを新聞記事などで紹介し、生徒の関心を高める。 	ワークシート⑧

※利息計算用プログラムの紹介

利息計算ができない場合でも大丈夫です！
付録教材を使って、購入金額、金利、毎月の支払額を入力すると、分割払い、リボ払いともに、支払総額と支払回数が自動的に計算できます。



※セキュリティの警告（「マクロが無効にされました」）が出た場合には、コンテンツを有効化してご利用ください。

※グラフは回数が増えるほど右に伸びて作成されます。

操作手順の説明通りに①②③④を入力すると、計算結果と同時に、グラフが作成されます。

ワークシート⑧「クレジットカードの支払方法とショッピング利用時の注意事項」

年 組 名前

ねらい

クレジットカードの支払方法を理解し、利用上の注意と、（計画）的に利用することの大切さについて、考える。

1 当てはまる用語を（ ）に埋めましょう。

- ・クレジットカードの支払方法は主に（3）通りある。
- ・（分割）払い、（リボ）払いなど、分割して代金を支払う場合は手数料がかかる。
- ・手数料とは（利息）のことで、お金のレンタル料である。

種類	支払方法	手数料
一括払い	1回払い、ボーナス1回払いなど	かからない
分割払い	購入のつど（支払回数）を決めて支払う	（かかる）
リボルビング払い （（リボ）払いともいう）	毎月（一定額）・（一定率）で支払う	（かかる）

2 50万円を年利15%で借りるとき、次の期間の利息を計算しましょう。

- ・利息の計算方法は $\text{元金} \times \text{金利} \times \text{期間}$
- ① 1年後に支払う利息は $50\text{万円} \times 15\% \times 1\text{年} = (75,000)$ 円
- ② 1か月後に支払う利息は $50\text{万円} \times 15\% \times \frac{1}{12} \times 1\text{月} = (6,250)$ 円
- ③ 1日後に支払う利息は $50\text{万円} \times 15\% \times \frac{1}{365} \times 1\text{日} = (205)$ 円

※元金とは（借った）お金、金利とは元金に対する一定期間の（利息）の割合。

3 クレジットカードの申込書、会員規約、広告を比較して、気付いたことを記入しましょう。

- ・クレジットカードの申込書に金利が書いてあるが、各社によって違うことに気付いた。
- ・リボ払いの計算をしたら、金利が高いと利息も多くなることに気付いた。
- ・ポイントがお得と思っていたが、リボ払いの手数料のほうが高いことに気付いた。

4 この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

設問例Ⅰ この時間を振り返り、どのような活動をしましたか？

- ・リボ払いは1回の支払金額が少ないので、高額なものでも買いやすい。しかし、商品を一括払いで購入する場合と異なり手数料がかかり、支払総額は大きくなる。
- ・分割払いやリボ払いで大きな買い物をする時、金利が数%変わっただけで利息が増え、返済するのが難しくなる場合がある。

設問例Ⅱ 活動を通じて、気づいたことや、自分の考えが深まったことは何ですか？

- ・高校を卒業したら、よく行くお店のクレジットカードを作って、カード会員の特典を利用したいと考えていた。しかし、クレジットカードの仕組みを学んで、お店側のメリットについても考えられるようになった。実際に作る時は、他のクレジットカードとの違いも比較して選びたい。

設問例Ⅲ 活動に向けて、調べたいと思ったこと、掘り下げたいことは何ですか？

- ・リボ払いを利用すると、返済がいつ終わるのかわからない状況になったり、支払総額が予想以上に大きくなったりすることがある。クレジットカードでリボ払いにする時は、計画を立てて利用しなければならないことを学んだ。お店の人の言うことやパンフレットにある宣伝に振り回されないようにしたい。
- ・大学生になったら、海外旅行をしたい。クレジットカードを使えば分割払いできるので、すぐに行けると思っていたが、手数料がかかり、支払総額も大きくなる。お金を貯めてからにするなど、よく考えて決めないといけない。
- ・支払方法をリボ払いにすると、ポイントが増えてお得になることがある。リボ払いは、月々返済しやすい金額で買い物できるが、支払総額が増えるので、ポイントがたくさんついて、実際は販売会社やクレジット会社のメリットの方が大きいのではないかと。クレジットカードを使わなければ買い物できないような場合は、その買い物が必要なのかどうか考えたい。

付録のフリップ（消費者、販売店、クレジット会社）を黒板に張り付け、前時の復習をし、今日のねらいを話します。三者のそれぞれのメリットを強調するのに効果的です。

WEB
読本

教材のパワーポイント資料で、クレジットカードの支払方法について説明します。Web版読本ステージ2を閲覧させながらワークシートに記入することも可能です。

WEB
読本

教材のパワーポイント資料で、利息の計算方法について説明します。Web版読本ステージ3を閲覧させながらワークシートに記入することも可能です。

黒板の三者間契約の図を再度紹介し、「消費者」「販売店」「クレジット会社」のそれぞれのメリットについて考えるように促します。

- ・戸惑っているグループには、会員規約の文字の大きさ、支払方法、手数料などを確認させるとよいでしょう。
- ・会員規約の条件に基づいた手数料や支払総額を利息計算プログラムでシミュレーションするのも効果的です。

WEB
読本

利息計算用プログラムを用いると利息の計算が簡単にできます。



考えるポイントを習熟度別に用意しました。設問例Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの考え方の違いについては、P25を参照してください。